

講演会・セミナーの告知・参加費決定の指針と 告知メール文面ひながた

2016.2.26 青木 宣明

◆基本方針

- ・ 最初のイベントの告知を開催の 2 ヶ月半と早めにする。告知ができるようにイベントの会場や内容、講師も早めに決めておく。
- ・ 定期的に継続して開催しているイベントの場合、イベント名に「第〇回」を示すようにする。こうすると開催実績があることが一目で分かる。参加者が安心して申し込みやすくなるし、大きい企業になるほど**前例があるかどうか**が決済の降りやすさに影響しやすい。
- ・ 大枠のプログラムが決まった段階で告知をしてしまう。(完璧主義にはまらない)
- ・ 決定したことを加えながら告知を繰り返す。
- ・ その際文面は少しずつ書き換える。
- ・ 告知文には**メリット**をおりませる。
- ・ 「**なぜ**」参加するといいのか、「**何**」が提供されるのか、「**どうやって**」参加申込みをするのか、「**今すぐ**」してほしいことは何か、これらを告知文に織り交ぜると多くの人の興味を引きやすくなる。
- ・ 後半の告知では、申込み締め切りや会場が埋まりつつあることも書いて参加申込みを促す。
- ・ すでに申し込んでくれている人もいるので周囲に勧めてもらう。
- ・ 講演会終了後にフォローアップのメールを送る。**開催したイベントがフロントエンド、後のイベントがバックエンド商品**になる。フロント・バックエンド商品を組み合わせつつ告知・販売することは、参加者との関わりが続くことを感じさせ、収益を安定化するのに大切な考え方になる。
- ・ メール文面が読みやすいように 30 文字程度の切りのいいところで改行する。

■メールを出すタイミングの例

- ①2 ヶ月半前 (概要)
- ②2 カ月前 (プログラム確定版)
- ③募集開始から 2 週間後

④1週間前

⑤締め切り前日

⑥（参加者のみ）会期直前に参加者に案内のメール（送迎バスの有無など）

⑦（参加者のみ）終了した次の日にお礼とフォローアップのメール（後に来るイベントの情報もわかっている範囲でできるだけ詳しく書く）

何度も告知をして嫌われるのではないかと思うかもしれないがそれを恐れる必要はない。

「参加を迷っている人の後押しをするため」

「参加申込みを忘れている人もいるかもしれないから思い出してもらうため」

に告知を繰り返せばいい。

■参加費の決め方

- ・ おおまかでいいので**収支予測**を立てる。完璧にやろうとはしなくてよい。
- ・ **参加費は事前徴収のほうがよい**。理由は先に参加費を払ってもらうことで資金繰りが楽になる、参加者が当日急に来ない確率が大幅に減る、受付でお金のやり取りをしなくて済むので受付がスムーズになりやすい、お釣りの準備の必要もなくなるからである。
- ・ **当日参加費支払いの場合、受付のオペレーションが簡素**になるように1000円未満の設定はしない（小銭の準備や当日のやり取りは非常に面倒で時間を取られる）。会期が複数日にわたっても1日だけの参加費は設けない。
- ・ **懇親会費は5000円以下**にすると企業の方は交際費として処理しやすい。
- ・ **お金の受け取りについてのメンタルブロック**があると過度に安くしてしまう可能性がある。とくに大学教員の場合、ビジネス、とくにお金の受け取り方は大学では教わらないので無理もないところもある。
- ・ さらに、宿泊費や懇親会費は実体のあるサービスを転売しているのと同じなので安くしすぎるとダンプングを疑われる可能性がある。**学会が公益社団法人**であれば、このような細かい点も気を付ける必要がある。
- ・ 人によっては、収支から見ると妥当でも、金額が高いのでは？と思うかも知れないが、一般のセミナービジネスで宿泊込みなら5万円以上するのはざらにある。
- ・ **高くしたらしたなりにそれを払える器の方が集まる**。参加者は元を取ろうと自然とするのもの。金額もそれほど恐縮する必要はない。**どんな参加者を集めたいか？**も金額を決める要素になる。

- ・ もちろん値段なりの満足感を得ていただくとする姿勢は大事。
- ・ セミナーの金額設定について考えるときに次のリンク先が非常に参考になる。
■ ナリ：自分の商品やサービスの値段を上げられないのは、価値に対して価格を設定しようとしているから。価値を感じるのは誰なのかもう一度考えてみる。
きっと、素敵な。<http://k-nali.hatenablog.com/entry/2015/05/16/192442>

◆最初の告知（速報版，2カ月前には出しておく）

〇〇部会会員各位

いつも〇〇部会の活動にご協力いただき
誠にありがとうございます。

今年度も当部会主催のセミナーを開催いたします。

今回も第一線でご活躍されている著名な先生方に、
超臨界流体を活用した材料合成および
反応制御技術に関する最先端の話題について
ご講演いただく予定です。

本スクールは、超臨界流体技術に関する研究・開発に取り組まれている
技術者・研究者にとって非常に役立つ内容になるかと考えております。

取り急ぎセミナーの概要を下に掲載しておきます。
プログラム等の詳細が決まり次第、皆様にお伝えしていきます。

まずはご予定の確保をよろしくお願いいたします。
皆様、奮ってご参加ください。

■〇〇部会 第13回 セミナー

「超臨界流体技術の基礎から応用まで」 ■

日時：2014年8月4日（月）13:00 ～ 8月5日（火）12:15

会場：△△ホテル

会場のアクセス情報へのリンク

〇〇部会事務局

XX XX, YY YY

メールアドレス等連絡先

◆2度目の告知（プログラム確定＋募集開始，2カ月前，講演タイトルはわかっていれば入れる）

〇〇部会会員各位

いつも〇〇部会の活動にご協力いただき
誠にありがとうございます。

先日ご案内した第13回セミナーの詳細が決まりましたので
告知いたします。

講師は大学，研究所，企業から幅広くお受けいただくことができました。
基礎から応用まで最新的话题を提供いたします。

また，1日目の夕方からは参加者同士の懇親を
深めていただく場もご用意しております。
ネットワークの構築や直接講師に話しを伺うなど
この機会もご活用下さい。

ご参加の方は，以下の内容を記載の上，
または添付の参加申込書にご記入の上，
〇〇部会事務局 XXまでメールかFaxでお申し込みください。
xxx@yyy.ac.jp Fax: 〇〇〇-〇〇〇-〇〇〇〇

- 1) 御名前
- 2) 性別 男・女
- 3) 御所属・部署名・役職
- 4) 連絡先 (E-mail, TEL, FAX)
- 5) 連絡先ご住所
- 6) 会員資格 (部会会員, xx学会会員, 一般の何れか)
- 7) 夕食・懇親会: 参加・不参加
- 8) 宿泊: する・しない
- 9) 備考・その他 (学生の方はその旨ご明記下さい)

申し込み締め切りは7月15日です。
会場に限りがございますのでお早めにお申し込みください。

皆様のご参加をお待ちしております。

■〇〇部会 第13回 セミナー
「超臨界流体技術の基礎から応用まで」 ■

■日時：2014年8月4日（月）13:00 ～ 8月5日（火）12:15

■会場：△△ホテル
会場のアクセス情報へのリンク
（定員70名）

=====

費用は会場にて申し受けます。
できるだけおつりの出ないようにご準備頂ければ幸いです。

■参加費（消費税込、宿泊費・懇親会費を含まない）
部会員、協賛会員： 10,000円
非部会員： 15,000円
学生： 3,000円

■宿泊費（消費税込、一律：相部屋） 10,000円

■夕食・懇親会費（消費税込）
一般（部会員、非部会員）： 5,000円
学生： 2,000円

=====

■スケジュール

8月4日（月）
13:00 受付
13:25 開会挨拶

13:30～14:15 （所属）□□◇◇氏
「講演タイトル」

以下確定している範囲でプログラムを記載……

講演終了後 懇親会

8月5日(火)

9:00~9:45 (所属) □□ ◇◇氏

「講演タイトル」

以下確定している範囲でプログラムを記載……

12:10~12:15 閉会あいさつ

〇〇部会事務局

XX XX, YY YY

メールアドレス等連絡先

◆3 度目の告知（募集開始から 2 週間後）

〇〇部会会員各位

先日告知した第 13 回セミナーに多くの方にお申し込みいただきありがとうございます。

すでに申し込んだ方も周囲の超臨界流体技術にご興味のある方に参加をおすすめいただければ幸いです。

皆様、奮ってご参加くださいますようお願いいたします。

ご参加の方は、以下の内容を記載の上、
または添付の参加申込書にご記入の上、
超臨界流体部会事務局 XX までメールか Fax でお申し込みください。

xxx@yyy.ac.jp Fax: 〇〇〇-〇〇〇-〇〇〇〇

- 1) 御名前
- 2) 性別 男・女
- 3) 御所属・部署名・役職
- 4) 連絡先 (E-mail, TEL, FAX)
- 5) 連絡先ご住所
- 6) 会員資格 (部会会員, xx学会会員, 一般の何れか)
- 7) 夕食・懇親会: 参加・不参加
- 8) 宿泊: する・しない
- 9) 備考・その他 (学生の方はその旨ご明記下さい)

申し込み締め切りは 7 月 15 日です。
会場に限りがございますのでお早めにお申し込みください。

皆様のご参加をお待ちしております。

■〇〇部会 第13回 セミナー
「超臨界流体技術の基礎から応用まで」 ■

■日時：2014年8月4日（月）13:00～8月5日（火）12:15

■会場：△△ホテル
会場のアクセス情報へのリンク
（定員70名）

■スケジュール

8月4日（月）

13:00 受付

13:25 開会挨拶

13:30～14:15 （所属）□□◇◇氏

「講演タイトル」

以下確定している範囲でプログラムを記載……

講演終了後 懇親会

8月5日（火）

9:00～9:45 （所属）□□◇◇氏

「講演タイトル」

以下確定している範囲でプログラムを記載……

12:10～12:15 閉会あいさつ

=====

費用は会場にて申し受けます。

できるだけおつりの出ないようにご準備頂ければ幸いです。

■参加費（消費税込、宿泊費・懇親会費を含まない）

部会員，協賛会員： 10,000円

非部会員： 15,000 円

学生： 3,000 円

■宿泊費（消費税込, 一律：相部屋） 10,000 円

■夕食・懇親会費（消費税込）

一般（部会員, 非部会員）： 5,000 円

学生： 2,000 円

=====

〇〇部会事務局

XX XX, YY YY

メールアドレス等連絡先

◆4 度目の告知（締め切り 1 週間前）

〇〇部会会員各位

第 13 回セミナーに多くの方にお申し込みいただき
ありがとうございます。

参加募集の締め切りまであと一週間となり、
お席のほうも埋まってきております。

今回のセミナーは、
基礎から応用まで幅広い内容をカバーする講演になっております。

学生の方が超臨界流体の基礎を学びつつ
視野を広げるのにも貢献いたします。
学生の方向けの参加費も用意しております。
指導教員におかれましては研究室の学生さんにも
参加を是非勧めてあげて下さい。

皆様、奮ってご参加くださいますようお願いいたします。

ご参加の方は、以下の内容を記載の上、
または添付の参加申込書にご記入の上、
〇〇部会事務局 XX までメールか Fax でお申し込みください。

xxx@yyy.ac.jp Fax: 〇〇〇-〇〇〇-〇〇〇〇

- 1) 御名前
- 2) 性別 男・女
- 3) 御所属・部署名・役職
- 4) 連絡先 (E-mail, TEL, FAX)
- 5) 連絡先ご住所
- 6) 会員資格 (部会会員, xx学会会員, 一般の何れか)
- 7) 夕食・懇親会: 参加・不参加
- 8) 宿泊: する・しない
- 9) 備考・その他 (学生の方はその旨ご明記下さい)

申し込み締め切りは7月15日です。
会場に限りがございますのでお早めにお申し込みください。

皆様のご参加をお待ちしております。

■〇〇部会 第13回 セミナー
「超臨界流体技術の基礎から応用まで」 ■

■日時：2014年8月4日（月）13:00～8月5日（火）12:15

■会場：△△ホテル
会場のアクセス情報へのリンク
（定員70名）

=====

費用は会場にて申し受けます。
できるだけおつりの出ないようにご準備頂ければ幸いです。

■参加費（消費税込、宿泊費・懇親会費を含まない）
部会員、協賛会員： 10,000円
非部会員： 15,000円
学生： 3,000円

■宿泊費（消費税込、一律：相部屋） 10,000円

■夕食・懇親会費（消費税込）
一般（部会員、非部会員）： 5,000円
学生： 2,000円

=====

■スケジュール

8月4日（月）
13:00 受付
13:25 開会挨拶

13:30～14:15 （所属）□□◇◇氏
「講演タイトル」

以下確定している範囲でプログラムを記載……

講演終了後 懇親会

8月5日(火)

9:00~9:45 (所属) □□ ◇◇氏

「講演タイトル」

以下確定している範囲でプログラムを記載……

12:10~12:15 閉会あいさつ

〇〇部会事務局

XX XX, YY YY

メールアドレス等連絡先

◆5 度目の告知（締め切り前日か当日）

〇〇部会会員各位

いつも超臨界流体部会の活動にご協力いただき
誠にありがとうございます。

これまで何回か告知してきた第13回セミナーの
参加申し込みの締め切りが迫っております。

会場も埋まりつつあります。

参加をご希望されるかたは申し込みをお忘れなく！！

すでに参加をお決めになった方も
周囲にご興味がある方をお誘いいただければ幸いです。

ご参加の方は、以下の内容を記載の上、
または添付の参加申込書にご記入の上、
超臨界流体部会事務局 XX までメールか Fax でお申し込みください。

xxx@yyy.ac.jp Fax: 〇〇〇-〇〇〇-〇〇〇〇

- 1) 御名前
- 2) 性別 男・女
- 3) 御所属・部署名・役職
- 4) 連絡先（E-mail, TEL, FAX）
- 5) 連絡先ご住所
- 6) 会員資格（部会会員, xx学会会員, 一般の何れか）
- 7) 夕食・懇親会：参加・不参加
- 8) 宿泊：する・しない
- 9) 備考・その他（学生の方はその旨ご明記下さい）

申し込み締め切りは7月15日です。
会場に限りがございますのでお早めにお申し込みください。

皆様のご参加をお待ちしております。

■○○部会 第13回 セミナー
「超臨界流体技術の基礎から応用まで」 ■

■日時：2014年8月4日（月）13:00 ～ 8月5日（火）12:15

■会場：△△ホテル
会場のアクセス情報へのリンク
（定員70名）

■スケジュール

8月4日（月）

13:00 受付

13:25 開会挨拶

13:30～14:15 （所属）□□ ◇◇氏

「講演タイトル」

以下確定している範囲でプログラムを記載……

講演終了後 懇親会

8月5日（火）

9:00～9:45 （所属）□□ ◇◇氏

「講演タイトル」

以下確定している範囲でプログラムを記載……

12:10～12:15 閉会あいさつ

=====

費用は会場にて申し受けます。

できるだけおつりの出ないようにご準備頂ければ幸いです。

■参加費（消費税込，宿泊費・懇親会費を含まない）

部会員，協賛会員： 10,000 円

非部会員： 15,000 円

学生： 3,000 円

■宿泊費（消費税込，一律：相部屋） 10,000 円

■夕食・懇親会費（消費税込）

一般（部会員，非部会員）： 5,000 円

学生： 2,000 円

=====

〇〇部会事務局

XX XX, YY YY

メールアドレス等連絡先

◆（参加者のみ）送迎バス等の当日の案内

第13回セミナー参加者各位

セミナーへのご参加まことにありがとうございます。
おかげさまでほぼ満席の状態まで人数が集まりました。
当日は活発な議論、交流の場になればと思います。

送迎バスが

行きは8月4日 12:05, 12:30 発で

熱海駅の南口を出てすぐ右手付近にご用意しております。

帰りは講演会終了後、随時お乗りいただけるように手配しております。

また、参加費は現地で現金で承ります。

できるだけおつりのないようにご用意いただければ幸いです。

それでは会場で皆様をお待ちしております。

当日も盛会となりますよう、

ご協力をどうぞよろしくお願いいたします。

〇〇部会事務局

XX XX, YY YY

メールアドレス等連絡先

◆（参加者のみ）会期終了後の御礼メールと次のイベントの告知（終了した次の日に出すのがベスト）

セミナー参加者 各位

この度は〇〇部会 第13回セミナーにご参加いただき誠にありがとうございました。

50名を超える多くの方の積極的なご参加により、講演中や懇親会、さらには深夜の2次会まで盛会となりました。ご協力に感謝いたします。

ここで得た知見・交流を日々の研究・技術開発に活かしていただければと思います。

さて、〇〇部会は今後も9月に秋季大会（□□大学）にてシンポジウム（学生賞の表彰あり）と部会懇親会（9/17, 19:00～, ホテル☆☆）、来年1月13日に基礎理論講習会（★★大学）を予定しております。

今後も〇〇部会の活動へのご参加・ご支援を賜れば幸いです。どうぞよろしくお願いいたします。

第13回セミナー オーナイザー
AA AA（所属先）
BB BB（所属先）
CC CC（所属先）

〇〇部会事務局
XX XX, YY YY

◆参考資料

この資料の基本になる考え方、セミナー運営の指針は

キャリッジウェイ・コンサルティング 今井孝さんの
「マーケティング・マインドセット・プログラム」

<http://marketing-mindset.com/mmp/index.php>

(不定期に販売されています)

CTPeak 田久保剛さんの

「TAO メンタルビジネス塾」

<http://ctpeak.com/menu/taojuku/entry/index.html>

を大いに参考にしました。